

せい ろう まち  
**せ 聖籠町**  
**議会だより**

VOL.  
**111**  
平成27年7月24日発行

**さくらんぼ祭りで熱演**



**6月議会主な質疑**

2～5ページ

**6人が一般質問**

7～13ページ

**委員会報告**

14・15ページ

# 6月定例会

# 職員の派遣先を拡大

平成27年第2回定例会は6月18日から24日までの7日間の会期で開かれました。  
町長からの行政報告のほか、専決処分の承認、税条例の一部改正、公益的法人等への聖籠町職員派遣等に関する条例の一部改正、一般会計補正予算など16議案を慎重に審議し、全て可決しました。

また、監査委員の選任については全会一致で同意しました。  
一般質問では、6人の議員が農業政策、診療所、図書館、教育など、町政全般にわたり厳しくたどりました。

平成22年に制定された

「公益的法人等への聖籠町職員の派遣等に関する条例」では、派遣先が「地方公共団体金融機構」だけでした。今回の改正で派遣できる団体を一般社団法人や一般財団法人、一般地方独立行政法人等に広げ、職員の意識改革、資質向上を図ります。

## 主な質疑

民間企業等への派遣は考えたのか

〔五十嵐利栄議員〕 町の

職員の資質向上について、他の自治体と比較してどうなのか。毎年、計画的に派遣するのか。派遣先に民間大手企業等を考え



▲職員の派遣が可能となった町社会福祉協議会

ていないか。

民間は研修という形で考えたい

〔町長〕 今回の条例改正は、本来ならば3月議会

で提案すべきであったが、これまでの国・県等との人事交流の成果などを鑑

み今回、派遣先の幅を広げ職員のさらなる資質向上を考えた。  
民間企業については、短期間研修の形で考えた

い。  
〔総務課長〕 毎年、職員を派遣に出すことは考えていない。

# 聖籠町国民健康保険税条例の一部改正 (専決処分)

## 主な質疑

国の改正どおりでいいのか

〔中村恵美子議員〕

今回

地方税法等の一部を改正する法律が平成27年3月31日に公布されました。これに伴い、聖籠町国民健康保険税条例の一部改正が専決処分され、承認を求められました。



にのみや ひで お  
**二宮 秀男**さん  
(蓮野)

代表監査委員の鈴木武男さんが平成27年6月30日で任期満了になることから、後任に二宮秀男さんが選任され、全会一致で同意しました。

# 代表監査委員に 二宮秀男さん

の改正で、基礎課税額、後期高齢者支援金等課税額、介護納付金課税額がそれぞれ引き上げられ合計4万円上がる世帯がある。基礎課税額の最高対象世帯ではあるが、国保世帯は一樣に大変である。国の改正どおりでいいのか。

## 国の改正を地方自治体として順守

〔町長〕 国保世帯の限度額の改正は国レベルのことである。地方自治体としては国の改正を順守した。

## 討 論

反対 中村恵美子議員

聖籠町において、課税額が引き上げられる世帯の数は多くはないが、共産党がいう富裕層ではない。値上げ分を町として負担すべきである。

採決 賛成11 反対1で可決

### ● 新発田市との 定住自立圏構想に参画

### ● 診療所が 週3回午前中のみ診療

### ● 「葵会」病院の建設着工

## 行政報告



わたなべ  
**渡邊町長**

▼平成26年度一般会計は2億8231万円の黒字決算となりました。また、一般会計他3会計合わせた累積滞納額は5904万円となる見込みです。納期内納税者との公平を図るため、今後とも滞納額の減少に努めてまいります。

▼新発田市から本町と胎内市に対し、定住自立圏構想の取り組みについて協議がありました。定住自立圏構想は、人口減少や少子高齢化の急速な進行が見込まれる中、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めることにも、地方圏への人の流れを創出するため、平成20年度に国が制定した制度です。この制度の活用により、より効率的な町づくりが期待できることから、新発田市を「中心市」としたこの構想に参画し、連携できる事業に

ついて、今後検討していきたいと考えています。

▼「聖籠町人口ビジョンおよび総合戦略」の策定については、「聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要綱」を定め、産・官・学・金・労・言による委員の人選を進めております。

▼診療所医師の後任については、6月に入り問い合わせをいただいた医師と現在交渉中です。

新任の医師が赴任するまでの間については、6月22日から月・水・金の週3回午前8時30分から12時30分まで派遣医師で診療を行うことになりました。

▼医療法人社団「葵会」が建設する病院の起工式が5月9日に行われました。地上6階建て施設として、病床数180、診療科目は内科・外科・脳神経外科・整形外科・リハビリテーション外科の5科で、開院予定は平成28年9月となっています。

## 個人番号制度導入による

## システム整備委託料を承認

# 一般会計補正予算

### 歳入

■個人番号制度に伴う

システム改修補助金

664万円

■社会資本整備総合交付金

1997万円減額

■町道整備事業債

2370万円

### 歳出

■個人番号制度に伴う統合

宛名システム整備業務委託料

349万円

■蓮潟こども園駐車場用地購入費

(平成27年度分)

150万円

■聖籠中学校15周年記念事業補助金

120万円

■農林水産振興事業費補助金

777万円減額

平成27年度一般会計補正予算は、既定予算に歳入歳出それぞれ1767万円を追加し、総額70億3267万円と定める予算を全会一致で可決しました。

主な質疑は、歳入で個人番号システム導入についてと、歳出では蓮潟こども園駐車場の用地購入、聖籠中学校15周年記念事業費、サクランボ雨よけハウス事業などについて質疑が行われました。

### 主な質疑

#### なぜ広大な面積購入したか

中村恵美子議員

駐車

場の必要性は理解できるが、なぜ必要以上と思われる広大な面積（4807平方メートル）を購入したのか。さらに土地購入費だけ予算計上し、整備費が予算化されていない理由はあるのか。

#### 地権者5人名義で売却希望のため

総務課長

地権者5人

が高齢者で一括売却したいと希望があり受け入れた。整備費は下越土地開

発公社への返済が終わるまで、大規模な工事ができないことから予算計上しなかった。

〔町長〕 原則は原則だが、児童公園など早めの有効利用を考えていく。



▲蓮潟こども園駐車場予定地

### 個人番号システム情報 漏れの懸念はないか

五十嵐利栄議員 年金

機構の120万件以上の情報漏れが大きな問題となっている。このため国では個人番号システムの法案もまだ見通しが立っていない。個人番号システムを導入した時、情報漏れの懸念はないか。

### 万全を期して対応する

総務課長 平成26年・

27年の2年間でシステムを整備する。町の機器はインターネットとは直接つながっていないし、情報漏れが発生しないよう万全を期して対応する。

### なぜ今の時期に予算計上するのか15周年事業

中村恵美子議員 聖籠

中学校15周年記念事業は、周年計画はあらかじめ分かってのことなので、本来3月の予算段階で計上すべきである。なぜ補正予算で計上したのか。



▲待ち遠しい開校15周年記念事業

今後20・25・30周年と周年が訪れるが、今後は何年ごとに記念事業を行う計画か。

### 相手の意向もあり3月議会の提案が間に合わなかった

町長 本来3月議会で

提案すべきだったが講演予定者(乙武洋匡さん)

### 対象範囲をどこまで考えているか

小川益一郎議員 乙武

さんの講演事業は良い企画と思う。ぜひ聞きたいと考える町民も多いと思う。場所も町民会館などできないか。一般町民にも対象を広げられないか。

### ふさわしい運営について今後検討する

教育長 対象は中学生

と小学校高学年を基本に考えている。今後中学校と町の意向を聞き、場所や対象者を含めて、ふさわしい事業になるよう検討する。

### サクランボ今年の収穫はどの程度か

五十嵐利栄議員 雨よ

けハウス事業は実質何人が応募し、実績はどうだったか。また今年度のサクランボの収穫をどの程度とみているか。今後経営に対して心配している農家もいると思うが、実

態調査を考えているか。  
平年の40%〜50%くらいの収穫

産業観光課長 雨よ

けハウスは7人が希望し、事業費は2055万円であった。サクランボの今

年の収穫は平年比40〜50%くらいと推測している。実態調査は今後J Aとも相談し対応する。



▲雨よけハウスはサクランボの生命線

# 読者の声

## 心の居場所



さとう さとこ  
佐藤 聡子さん  
(次第浜)

『川崎中一殺害』の記事に気分がドンヨリ。スマホで検索すると、容疑者少年の顔写真が拡散していることにさらにドンヨリ。幼い時は可愛い子だったのでしよう。なのになぜ…？

聖籠町では、子どもたちの健やかな成長のために多くの事業が行われています。保育料無料や児童クラブ施設の建設などの「子育て支援」。非常勤講師の雇用や学校支援ボランティアなどの「学校への支援」など。これらの事業や、教育・保育の現場に従事する多くの方々の日々のご尽力

には頭の下がる思いです。このように恵まれた環境の中でも、私が町の子どもたちの様子に「ん？」「え？」と感じる点が幾つかあります。「同調意識が強く、人と違うことを好まない。」「友人と優劣・勝ち負けを決めたがらない。」「想像力・創造力に乏しい。」

自分らしく居るのは難しそうです。子どもの安心・安全な環境づくりは施設の充実はもちろんです。それと、もう一つ、「心の安心・安全な環境づくりも大切です。それ

は、「自分らしい言動・行動ができる。SOSを発信できる。」そんな場所だと思えます。そのためにスクールカウンセラーなどのプロの人材確保とともに、「いつも見ているよ。」という地域の大人の力が不可欠です。その力は少年犯罪や自殺の抑止につながるのではないのでしょうか。

町民として権利や要望を主張するばかりでなく、私たち保護者が率先し子どもの安心・安全に一層の心配りをすべきでしょう。まずは、自分の子どもものことから始めたいですね。

# みなさんの 請願・陳情

第2回定例会では地域住民より直接の声となります請願2件、陳情1件を審査し、請願・陳情それぞれ1件を採択、請願1件を継続審査としました。

### 採択した請願

◎30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書

〔提出者〕

新潟県教職員組合下越支部  
執行委員長 清野 正康

〔紹介議員〕

中村恵美子・五十嵐利栄

### 採択した陳情

◎藤寄下通り地区町道拡幅整備に関する陳情書

〔提出者〕

藤寄区長 遠藤 博

### 継続審査となった請願

◎「安全保障関連法」制定の中止を求める請願書

〔提出者〕

憲法を守る新潟県共同センター  
代表 佐藤 一弥・渡部 睦夫

〔紹介議員〕

中村恵美子・五十嵐利栄

〔理由〕

国における検討の中では違憲・合憲とする両方の意見があり、法制定の目的ならびに違憲とする理由等について、慎重に審議する必要があるため。

## 意見書を国に提出

第2回定例会で1件の意見書が提出され、全会一致で可決されました。可決された意見書は、国の関係機関に提出し、実現するよう要請します。

◎30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書

ズバリ  
直言!!

# 一般質問 町政を問う

- 6月議会では、6議員から町政を問う一般質問がありました。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。
- 一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長等に疑問点をたずねるものです。
- 全文は会議録として、8月末に町ホームページに掲載される予定です。

## 6議員が質問

五十嵐 利栄 議員

P8

- 1 小学校エアコン設置早急に
- 2 ナラシ対策助成は

中村 恵美子 議員

P9

- 1 国保一世帯1万円引き下げを
- 2 診療所の後継医師確保を
- 3 医療費の助成高校生まで拡充を

宮沢 光子 議員

P10

- 1 どうする図書館への案内表示
- 2 「学社融合」を議論しているか

田中 智之 議員

P11

- 1 東京五輪のキャンプ地に立候補を
- 2 聖籠中学校のホームページ更新を

小川 益一郎 議員

P12

- 1 次第浜野球場の駐車場管理を適正に
- 2 一方通行の解消を早急に
- 3 消費者行政の啓蒙を徹底せよ

青木 順 議員

P13

- 1 人口増で町の活性化を
- 2 虫歯ゼロを目指せ

# 小学校エアコン設置早急に

## 町長 今後前向きに検討していく



五十嵐 利栄議員

**問** 今回が4年任期の最後の一般質問となるので、過去に「検討する」答弁をもらった何点かについて質問する。

①第4次総合計画で、平成32年に人口1万5千人を達成する計画が示された。計画から4年経過した現時点での達成見込みと課題は何か。

②こども園と中学校のエアコン設置率は100%、小学校の設置率は0%（普通教室）。この事実関係をやむを得ないと考えるか、何とかしなければと考えるか。そしてエアコン設置は教育的観点から見て、是か非か。

③幼・小・中学校の学校給食に聖籠町の米粉を使った、米粉パンを月1回

供給する計画が平成22年にスタートした。現時点では、こども園のみの供給で小・中学校には供給できていない。妙高市では町の2倍近い数量を数年前からすでに供給している。聖籠町はなぜできないのか。

④聖籠町からオリンピックを目指すアスリートを応援する会を設立できないか。



▲通所者の自立が進むパン工房

**町長** ①5月末の町人口は1万4350人である。最近の人口動態を見ると、平成32年で1万5千人達成は難しい。一方で民間の宅地造成も進んでおり、目標人口達成は不可能ではない。

②どの家庭にもエアコンが普及し、最近は異常気象で猛暑が続くことも多い。保護者からのエアコン設置の要望も強い。今

後前向きに検討していく。

③小・中学校への地元米粉パンを供給するには、人・者・金の検討が必要なので、当面は学校給食への供給は月1回550個とし、販売所を中心に対応していくことで、理解願いたい。

④フェンシングの選手や他の団体の意見を聞きながら、町を挙げての応援体制について、今後検討していきたい。

## ナラシ対策助成は

### 町長 考えていない

**問** 平成27年度、米のナラシ対策として、認定農業者および生産調整協力者に対応する制度が国から提示された。最終的な見込人数と対象となる水田面積をどの程度とみているか。町として助成は考えていないか。

**町長** 認定農業者の見込人数は130人くらいで、この時の水田面積は780ヘクタールとみている。助成は考えていない。

**一口メモ**  
※ナラシ対策とは、米価が下落した際に収入を補填する制度です。農家と国が1対3の割合で積立金を拠出し、標準的収入を下回った時に補填する国の制度です。



# 国保一世帯1万円引き下げを

## 町長 低所得世帯は軽減措置がある

**問** 私が4月に実施した町民アンケートでは、8割近くが最近の生活で「苦しい」「かなり苦しい」と回答している。

**町長** 私が4月に実施した町民アンケートでは、8割近くが最近の生活で「苦しい」「かなり苦しい」と回答している。費投入が実現することになった。一般会計からの法定外繰入は解消される。税務財政課長 基金は緊急的な予算の不足等に対応するものである。

町政に望むものでは「国保税・介護保険料の負担軽減」が67%とトップだった。1800万円基金を取り崩し、国保一世帯1万円の引き下げをするべきでないか。

**町長** 平成30年度からスタートする新たな国保制度においては、財政基盤の強化策として要望していた3400億円の公



中村 恵美子議員

## 診療所の後継医師確保を

### 町長 応募があり面談予定

**問** 6月末に国保診療所の丸山医師が退職されることにに対し、「かかりつけ医師がいなくなる」と町民から不安の声が多く出されている。

**町長** 町民の命と健康を守るために、後継医師の確保(場合によっては医師派遣も要請)を緊急課題として対応を急ぐべきでないか。国保診療所の将来をどう考えるか。

**町長** 医師については、現在北海道の公立病院に勤務する60歳の医師が6月20日に来町し、診療施設、医師住宅等を見てもらう。町の意向、本人の意向を確認し、合意に至ればと考えている。

医師が来るまでは、月曜日に医師1人。水・金曜日に別の医師が1週間2回来ることになった。診療所の将来は1日30人から50人程度の患者に対応しながら、生活習慣病や健康増進対策、予防対策など考えられる。

## 医療費の助成 高校生まで拡充を

### 町長 高校生への助成しない

**問** 子育てをしていると、こども園、小・中学校、高校は給食費、学級費、PTA会費等々お金が掛かる。

子どもの医療費助成を高校卒業まで拡充できないか。

**町長** 公職選挙法の改正で選挙権が引き下げられたことなど、高校生は大人同然である。したがって、医療費はそこまで対応する必要はない。



▲地域医療のよりどころ町診療所

# どうする図書館への案内表示



宮沢 光子議員

## 町長 公共施設全体を考え検討

**問** 新図書館で行われたオープン1周年記念祭は、高額予算をかけずに職員の高額な知恵を使い、手作り感いっぱいの一周年祭だった。新図書館の施設環境の整備は、ほぼ終了したと理解している。しかし、今後、図書館建築基本計画書の中で示されている庭などの整備計画をどう考えているか。

オープン当初から、新図書館への案内表示が少ないという声を町内外から聞く。看板や案内表示をどう考えているか。

平成27年4月、県からの人事異動により図書館長は就任している。今年度、図書館が策定する予定である「子ども読書活動推進計画」の進捗状況



▲図書館フロアコンサートで利用者もほっとひと息

はどうか。計画が絵に描いた餅にならないために、町の子どもの読書の現状把握が大事である。小・中学校、保育園、こども園等と情報共有しているか。

小・中学校の学校図書館に司書を配置してから十数年経過した。教育効果は大だったと思うが、学校内で司書の立場があらゆる状況は変わらな

い。

学校図書館司書の問題、課題の解決策は何か。

**町長** 新図書館の環境整備は、平成27年3月の緑地整備工事で一定の整備は終了した。今後、計画書にある役場から図書館へつなぐアーケード的なものを検討したい。

標識案内については、図書館だけでなく、公共施設全体においても不備であると町外の人からも指摘されている。今後、

標識等の案内板を検討し計画的に整備する。

**教育長** 「子ども読書活動推進計画」は今年度中に策定する。校園長会の意見や子どもたちの読書実態等を学校現場と連携し、図書館で素案を作成する。

学校図書館の本の貸出数は司書の配置により年々伸びている。今後の課題は図書館司書と司書教諭等との連携強化である。

## 「学社融合」を議論しているか

### 教育長 第4次総合計画を検証し議論

**問** 学校教育と社会教育を連携、融合させた事業を充実することは、町の将来を担う子どもだけでなく今を生きる大人の人材育成、発掘につながる。「学社融合」について議論をしているか。

**教育長** 教育委員会の定例会で「学校・家庭・地域」の連携による教育力の向上の検証と工夫を提案した。今後、「学社融合」について議論する。

# 東京五輪のキャンプ地に立候補を

## 町長 フェンシング競技を主体に

**問** 2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催される。開催準備が進む中、2月にJOCが開いた五輪参加国の事前キャンプ誘致説明会には、日本全国から400近い自治体に参加した。その後、3月から立候補の受け付けが始まり、来年8月頃に各国に向けた国内事前キャンプ候補地の情報提供を開始する。

満たす競技もある。

多くの自治体はその経済効果を期待して外国選手団誘致に積極的だが、例えば未来のネイマールやウサイン・ボルトといったオリンピック選手と交流することこそ、子どもたちの財産、そして希望になる。本町もキャンプの誘致に名乗りを上げようか。

**町長** 昨年9月、県にはフェンシング競技を主体に事前キャンプの誘致に関心があると報告した。サッカーの町というイメージを内外に発信している本町であるが、サッカー競技については、練習環境などを考慮した場合、新発田市を中心とした広域連携の中で誘致が可能かを考える必要がある。

費用対効果を積算しながら前向きに検討する。

立候補するには、各競技の国際連盟が求める水準の練習施設や宿泊施設を提供すること等の条件があるが、本町が条件を



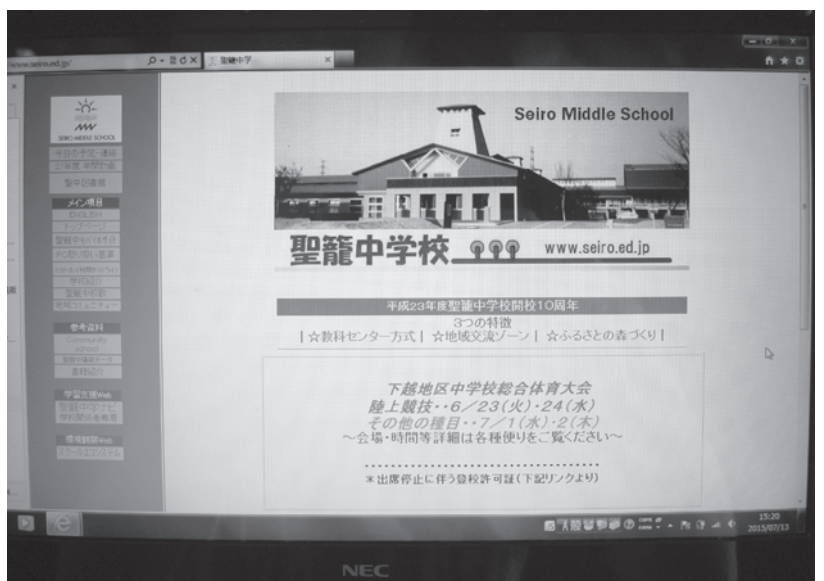
田中 智之議員

# 聖籠中学校のホームページ更新を

## 教育長 速やかな更新を検討

**問** 今年、聖籠中学校は開校15周年を迎える。学校の特色としては①教科センター方式②地域交流ゾーン③環境とエコロジ

ーの3点を開校当初から掲げてきた。また現在、中学校のホームページ(HP)のトップページにもこの3点が「三つの特徴」として掲載されている。しかし15年がたち、この中には形を変えたもの、当時の理想を表現で



▲正確な情報発信を

きていないものもある。15周年にあたり中学校の現在の特徴を見詰め直し、今後目指していく姿を練り直す。その上で不特定多数が閲覧するHPも更新し、正しい情報を提供しなければならぬと思うが、どう考える。

**教育長** 中学校のHPには開校当初のまま更新されず掲載されているものもある。ただ、直すには高度な技術が必要で、一般の教師の技術レベルでは難しい。15年間変えることができなかったことには、管理する教育委員会の責任も感じており、今後は速やかに更新できるように検討していく。

# 次第浜野球場の駐車場管理を適正に



小川 益一郎議員

## 教育長 今後協議し適正に調整

**問** ①加治川河口に立地する、町営野球場はどのような管理と利用がなされているのか。

②野球場の開設年月日、場所、面積（球場と駐車場）。

③駐車場収容台数。

④常時20〜30台駐車している。どこの車か確認しているか。

⑤無断駐車か、町の許可を得ているか。

⑥あの駐車場は隣接の北冷モールの駐車場と交換した場所だ。企業は自前で駐車場を確保すべきでないか。

**教育長** ①県から昭和59年に占用許可を得、社会教育課が社会教育施設として管理している。主にスポーツ少年団・野球連盟登録団体が利用する。

②開設は昭和60年6月、場所は次第浜4164番地352、面積は野球場1万3984平方メートル、駐車場1500平方メートル。

③収容台数30台程度。

④隣接の「北冷モール」従業員の手で管理している。

⑤野球場利用がない場合に限り、平日および一部土曜の日中について無料使用を認めている。

⑥当時、野球場利用者が無断で隣接する北冷モールの駐車場を利用する等の問題があった。

このため、町の体育協会と野球連盟から駐車場の交換陳情があり、平成3年12月に県の承認を得て、占有地の権利譲渡を行った。

町側からの要望であることから、駐車場の使用を認めている。

## 一方通行の解消を早急に

### 町長 地権者の未相続が原因

**問** 山倉集落内幹線町道寺島〜網代浜線は、県道との交差点で交通事故多発により、新発田方面への一方通行となっている。人命第一ということから、集落の皆さんには非常に不便をかけている。

しかし、拡幅整備の調査費を予算計上してきたが、先の見通しが不明である。進捗状況・執行予定計画路線の中に、担当

**町長** 幹線町道として重要な路線であるし、狭くて一方通行の解消は町の重要施策である。これまでに路線測量、物件調査、用地測量等757万円の見込みとなっている。



▲山倉集落の一方通行町道

## 消費者行政の啓蒙を徹底せよ

### 町長 被害防止策を徹底する

**問** 町内高齢者が1900万円もの大金を詐取された。行政は町民を守る義務がある。

**町長** 弱い立場の高齢者が、トラブルに巻き込まれないように取り組みを強化する。

権が設定された未相続の土地があり、相続手続きが複雑困難化している。今年に入り地権者の代表が取りまとめの意向を示している。

早期整備を目指し、国の社会資本整備総合交付金等の活用を図りたい。

平成29年度に用地買収、物件補償、30年に道路改良、舗装工事を進めたい。

# 人口増で町の活性化を

## 町長 重要視し検討する

**問** 聖籠町は県内唯一一人  
口増の町である。

新潟県の2014年の

出生数は1万6480人と、前年より586人減少し過去最低を記録した。本町においては、人口を維持できる合計特殊出生率2・08には及ばないが、平成25年度には1・91と高い数値を出している。本町の特徴である24歳までに出生する割合が非常に高いことや、第3子以上を出生する割合が高いことなどを踏まえ、子育て

で支援を拡充することで一層の人口増が期待できる。

**町長** 施策の最重要課題として取り組んできた。

人口も増加傾向にあり、若年層の割合も多く、高齢化率の低さにも表れ、活性化にも寄与している。また、医療費助成、保育料の無償化などさまざまな子育て環境強化のため、財政上の経済支援を行っているが、これ以上の対策は必要なのか、全体的な拡充も含め再考を検討しなければならない。



青木 順 議員

# 虫歯ゼロを目指せ

## 町長 今後も努力していく



▲目指せ虫歯ゼロ 県下ナンバーワン

**問** 新潟県は、12歳児の虫歯が少ない県全国1位であるが、わが町は県内断トツで最下位である。

学校では給食後の歯磨きを行っており、家でもしっかりされていると思うが、なぜ聖籠町だけが悪いのか。

平成24年度からフッ化物塗布を始めているが、新たにフッ素洗口などを取り入れ、一刻も早く対策を講じ、虫歯のない町ナンバーワンといわれるよう、徹底した虫歯予防の取り組み強化を町全体で行えないものか。

**町長** 歯科医師、歯科衛生士、養護教諭、保健師など、全員を集め意見聴取会を開催した。その

中の意見で、やはり子どもが生まれてから、食生活の中で、いかに歯磨き等の励行を親がまた子どもに習慣づけていくかに他ならないということであった。その中でフッ素洗口は大きな効果を表している。

いろんな対策を講じ予防対策を徹底していかなくてはならないと考える。



▲生徒発案の洋菓子（フルーツポンチ）の紹介を受ける

## 生きる力の育成に取り組む

### 総務文教

6月1日・2日、「学社融合」に取り組んでいる和歌山県田辺市立衣笠中学校と、「読解力」向上を目指した授業展開をしている京都市立御所南小学校の視察を行った。

衣笠中学校では地域の基幹産業である梅を使った洋菓子を、地元企業とのコラボで製造している。生徒たちの「地元の役に立ちたい」という思いから始まった活動は、生徒たちに地域貢献の喜びや特産物の良さを再確認さ

せ、それらは郷土への誇りにつながっている。

御所南小学校では「読解科」の授業を設けているが、学校が目指す読解力とは単に文章を理解する力ではない。子どもたちが効果的に社会に参加するために、書かれたテキストを理解・利用・熟考する力である。これは高度な「生きる力」の育成であり、市と学校の連携による産物と言える。

# こんなことを 研修 報告

## 「健康長寿の町」に学ぶ

### 厚生産業



▲群馬県昭和村の直売所を視察

7月2日・3日、「大規模農業経営」に取り組んでいる群馬県昭和村および、「介護予防」に取り組む健康長寿の町を実現している同県草津町の視察を行った。

昭和村は、高原地帯であることと大消費地東京に近いという地の利を最大限に生かし、全国でも屈指の野菜王国と自負するほどの農業の村。積極的に農業環境の整備をし、大規模な農業基盤の上に、大手企業と契約栽培する

など、この経営姿勢には学ぶものがあった。

また、草津町は、高齢化率が35・7%（聖籠町は22・8%）である。同町は、平成13年から東京都健康長寿医療センターと共同して高齢者の健康寿命を延ばすことに取り組んできた。現在、介護保険認定率は全国でも最も低い自治体の一つとなっている。現代が抱える大きな課題に町ぐるみで取り組んでいる先進地であった。



▲宮城県柴田町の視察研修

## 議会改革先進地を視察

### 議会運営

5月14日・15日、議会改革の先進地である宮城県蔵王町および柴田町の視察調査を行った。

視察目的は①議会基本条例の制定経緯②議会主催の住民懇談会・議会報告会の実施状況③通年議会の会期制導入について研究するため。

両町とも議会の監視機能の充実を図り、議会が町執行部と車の両輪のごとく円滑な運営ができるように議会改革を進めている。

執行部と活発に議論をするために、議会は地域への議会報告会を開き現状を伝える一方、住民の皆さんから要望や政策立案などについて提案をしてもらう機会を設けている。

町民目線の議会運営とするためにはどうあるべきか。私たち議員がいま一度今までの活動を客観的に評価し、議会運営の改善に努めていかなければならないとあらためて学んだ。

## 全国からの視察者と意見交換

### 議会広報

5月19日、千葉県袖ヶ浦市、5月28日、宮城県山元町、7月7日、石川県志賀町から広報委員の皆さんが視察に訪れた。特に袖ヶ浦市は14人の委員が来訪され、予定時間を大幅に上回る中で広報づくりについて、活発な意見交換を行った。

6月議会最終日に議員発議で、これまで特別委員会だった議会広報対策特別委員会を常任委員会とし、広報広聴常任委員会として9月1日より新

たにスタートすることが、全会一致で可決された。

# あんなことや 調査 委員会



▲千葉県袖ヶ浦市からの視察対応

## ☆ 議会を傍聴に きませんか

今回の定例会は、

**9月10日(木)**開催の予定です。

議会では、どんなことが議論されているのか。どんな計画があり、どう進んでいるのか。あなたに身近なこともありません。気軽に傍聴においでください。

また、本会議のようすを「エフエムしばた」のラジオ放送やインターネットでも聞くことができます。

都合で議場には来られない方も、ぜひ放送に耳を傾けていただき、ご意見、ご要望などをお気軽に私たち議員にお寄せいただければ、と思っています。



## ★表紙の写真★

### 「さくらんぼ祭りで熱演」

例年以上に盛大だったさくらんぼ祭りをより盛り上げてくれた、聖籠太鼓「響」（さとおと）の演奏風景です。

## 発行責任者

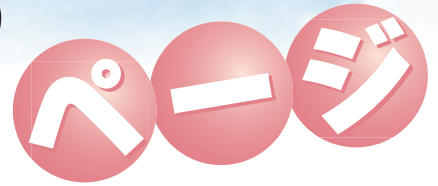
議長 須貝 龍夫

## 広報対策特別委員会

委員長	五十嵐利栄
副委員長	堀 常正
委員	宮沢 光子
	田村富美男
	田中 智之
	青木 順

# みんな

# の



## 聖籠町に嫁いで来た お嫁さん

### 町民の方々が温かくとても ステキな町だと感じました



はせがわ まお  
長谷川 真緒 さん  
(蓮潟)

**Q** どんなきっかけで彼と知り合いましたか？  
知人の紹介で知り合いました。

**Q** 聖籠町に嫁いできてどんなイメージを持ちましたか？  
果物畑が多く、町民の方々が温かくとてもステキな町だと感じました。

**Q** 町での生活はどうですか？(楽しい新婚生活のエピソードもあったらお聞かせください)  
旦那さんが家事を手伝ってくれるので、とても助かっています。  
温かい家族に見守られ、色々教えてもらいながら、毎日楽しく過ごしています。

**Q** 町に望むことはありますか？

これからも安心・安全で、住みやすい暮らしができるような町であってほしいです。

今回は、新発田市出身で平成27年3月に嫁いで来た長谷川真緒(旧姓 宮下)さんです。

皆さんよろしくお願ひします。

皆さんもみんなのページ「聖籠町に嫁いで来たお嫁さん」に出てみませんか。対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。自薦・他薦は問いませんので、お気軽に役場議会事務局 (TEL0254-27-1967) までご連絡ください。

メディア報道によると、総務省が報じた人口減27万人少子化加速の時代到来。  
本県減少数は、全国2番目だ。政府は地方創生を掲げ、対策や是正に取り組んでいる。  
国が地方自治体に、策定を求め、地方版総合戦略と、地方人口ビジョンについて、県内30市町村のうち7割の21市町村が、一部業務を外部委託している。  
本町は選定中と記載されている。相模原市内で、6月24日女性の遺体が発見された事件。  
一番気になるのは、7歳になる男子の行方である。住民票があるのに行方が分からない「所在不明児」のうち、自治体が1年以上調査しても確認できない子どもが、15都道府県に34人いることが分かった。  
18歳未満については、厚生労働省が昨年初めて、全国調査を実施。141人の所在が不明である。世の中で、大人のエゴで子どもの命が脅かされている。

議会広報対策特別委員会  
委員 田村 富美男

## 編集後記